

【ボッチャ競技 障害別参加区分】

肢体不自由		区分番号	障害別区分	立位	座位
肢体Ⅰ	切断・機能障害	1	多肢切断・両下肢完全で立位 【解説】上肢、下肢の四肢のうち三肢体を切断し義足等を使用して立位で競技する者、もしくは脳原性麻痺以外で下肢の3大関節(股・膝・足関節)全てに機能障害があり、長下肢装具を使用して立位で競技する者	◎	
肢体Ⅱ	脳原性まひ以外の車いす使用者(脊髄損傷、二分脊椎、骨・関節機能障害、切断)	2	第6頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲の筋力はほぼ正常な四肢麻痺者(肘関節の屈曲と手関節の背屈は正常)		◎
		3	第7頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲の筋力がほぼ正常な四肢麻痺者(肩関節、肘関節、手関節の背屈と掌屈が正常だが、物が握れない)		◎
		4	第8頸髄まで残存 【解説】肩関節周囲と肘関節周囲と手関節周囲の筋力がほぼ正常で指の曲げ伸ばしも可能な四肢麻痺者(把持能力はあるが、指を強く開いたり閉じたりできない)		◎
		5	多肢切断 【解説】上肢、下肢の四肢のうち三肢体を切断し、車いすや椅子に座った姿勢で競技する者		◎
肢体Ⅲ	脳源性まひ(脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等)	6	四肢麻痺で車いす常用 【解説】脳原性麻痺により四肢に著しい可動域制限や協調運動障害がある者で両上肢駆動による車いす使用者		◎
		7	けて移動 【解説】脳原性麻痺により両上肢の障害が重度のため両下肢または片下肢で車いすを駆動させる者		◎
		8	片上下肢で車いす常用、または使用 【解説】脳原性麻痺による片側障害で、動かすことができる側の上肢と下肢で車いすを操作する者		◎
		9	その他走不能 【解説】脳原性麻痺による下肢障害で、杖や下肢装具の使用の有無に関わらず、走ることでできない者	◎	
肢体Ⅳ		10	電動車いす常用 【解説】電動車いす常用・脳原性麻痺や脳原性麻痺以外の四肢麻痺者で、日常的に電動車いすを使用している者		◎

※ボッチャの障害区分は、すべて投球時の姿勢を基準とする。

※座位とは、車いす及び椅子に座った競技スタイルを言う。

※座位で競技する選手(区分2～8および10)の選手で、投球はできるが車いすの方向を変えたり、移動することが機能的に困難な者及び投球することが困難でランプを使用して競技する者については、選手1名につき1名の競技アシスタントを認める。

※立位で競技する者においては、日常的に車いすを使用している者でも、投時に立っているかどうかで判断される。また安全上の配慮から、投球時以外はボックス内に椅子を準備し、座位にて待機してもよい。